

メディア芸術データベースとは

文化庁では平成22年度から、日本国内でこれまでに創造されてきたメディア芸術に関する調査を行ってきました。その成果を活用して構築されているのが、メディア芸術の作品に関する情報を広く一般に公開・提供するメディア芸術のデータ基盤「メディア芸術データベース」です。

マンガ・アニメーション・ゲーム・メディアアートの4つの分野について作品情報や複数の連携機関における所蔵情報をデータベースとして整備し、それらを横断的に検索できるウェブサイトを公開しています。さらに、ウェブ上での情報流通に便利なデータ提供サービスを行っています。

メディア芸術データベースは、メディア芸術の作品が次の世代へと引き継がれていくために、いつでも誰でもどんな時でも、作品や知りたい情報に容易にたどり着けるようにするためのデータ基盤となることを目指しています。

各分野のデータ提供件数* *2020年8月現在

マンガ分野 48万件以上

アニメーション分野 12万件以上

ゲーム分野 4.8万件以上

メディアアート分野 1.2万件以上

メディア芸術データベースがもつ主な機能

分野と機関を横断する検索サービス

メディア芸術データベースでは、主にマンガ分野の「単行本」「雑誌」、アニメーション分野の「テレビ番組」「劇場映画」「ビデオソフト」、ゲーム分野の「ゲームソフト」、メディアアート分野の「展示」「催事」などについて、作品に関する資料のタイトルや作者の他、連携している施設での所蔵に関する情報を提供しています。こうした資料単位の情報に加えて、共通資料を集約する「まとめ」として機能する、作品のシリーズや作者などの情報を提供しています。

ウェブサイトでは各項目を用いる検索ができるほか、「すべて」検索では作品資料に関するデータを4つの分野を横断してキーワードで検索することができます。

メディア芸術データベースが提供するデータ全てに共通のルールに基づく番号(ID)が与えられ、資料ごとのウェブページのアドレスにも使われています。メディア芸術データベースだけでなく他の様々なサービスについても、この永続的に提供されるIDを参照すれば、ウェブ上でメディア芸術の情報を正しく識別して利用することができますようになります。

コンピュータで使いやすいオープンデータの提供

ウェブAPIの提供

メディア芸術データベースは、様々な利用者や開発者の方々のために、収録するデータをJSON形式で提供するウェブAPIを公開しています。

メディア芸術に関するアプリケーション開発や研究、教育などに是非ご活用ください。

*ウェブAPI(Web API): プログラムがウェブ上の別のプログラムの機能を利用するための仕組みです。プログラムが処理しやすく、広く普及した形式・方法でデータを提供します。

全データのLinked Open Data データセット提供* *2021年春公開予定

メディア芸術データベースでは、公開する全データをファイルとして公開・提供します。このデータセットはウェブ上でデータを共有するための技術標準であるLinked Open Dataに対応した形式で記述され、誰でも自由に利用できます。ウェブサイト・ウェブAPIでは提供していない複雑な検索をご自身で行える他、他のデータベースとリンクさせて組み合わせて利用することが可能です。また、ご自身で開発されるサービスに組み込んでご活用頂けます。

データセットの仕様や詳細についてはメディア芸術データベースのメタデータスキーマとして提供されています。

* Linked Open Data (LOD): ウェブ上でデータを共有するための方法。公開されているデータ同士を結び付けることで、プログラムが様々なデータをそのつながりをたどって容易に検索できるようになります。
* データセット: システムに保存されているデータをまとめたファイルのことです。利用者はこれを自分が用意したシステムに投入することで提供されているデータを自分のシステムで利用することができます。



▲ウェブサイトの詳細検索サービス提供画面

Join us!



メディア芸術に関する作品資料をお持ちの施設・機関・個人の方へ

メディア芸術データベースは、メディア芸術に関する作品資料の所蔵情報や公開されているアーカイブデータなどの情報をご提供頂ける方を募集しています。データのご提供やデータベースの連携などを検討頂ける場合は、下記の御意見受付フォームからご連絡をお願いいたします。

また、メディア芸術の保存に関する支援や、そのご案内も行っていますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。



よろしくお願いします

みんなで作るメディア芸術データベースを目指して（御意見募集）

メディア芸術データベースでは、「御意見受付フォーム」より一般の方からも広くデータベースやサービスに関する御意見を募集しています。サービスの機能に関する感想・要望やデータの記載内容に関する質問などをお寄せください。

<https://fofa.jp/madb/a.p/101/>

*メディア芸術データベースのトップページ下部のリンクからもアクセス可能です。

メディア芸術データベース

<https://mediaarts-db.bunka.go.jp/>

PC・スマートフォンからご利用いただけます。
サービスのご利用は無料ですが、接続時の通信料はご負担ください。



よくわかるメディア芸術データベース
つながるデータで構築する未来へのアーカイブ

制作／大日本印刷株式会社 発行／文化庁
<https://mediaarts-db.bunka.go.jp/about/>

よくわかる

メディア芸術データベース

つながるデータで構築する
未来へのアーカイブ



メディア芸術のアーカイブ

メディア芸術は、文化芸術基本法において「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術」と規定されています(第9条)。

文化庁では、保存の担い手である博物館・美術館・図書館といった施設や大学・研究機関などと連携・協力して、**メディア芸術に関する貴重な作品や資料を次の世代に伝えていくためのアーカイブを実現する様々な事業に取り組んでいます**(メディア芸術連携基盤等整備推進事業)。

アーカイブを支えるデータベース

アーカイブとは、もともとは公的な記録やその保存庫、公文書館等を指す言葉でしたが、最近では分野を問わず**重要な記録・資料を長期間保存しアクセス可能にすることを指して用いられています**。

アーカイブ構築が進んでいる機関では、**所蔵品に関わるデジタルデータや関連情報のデータベースを整備し、ウェブ上で幅広く公開し、機関に留まらない情報の共有と利用を支援するデジタルアーカイブの取組が行われています**。日本でも「**ジャパンサーチ***」をはじめとして、**国内の文化資源に関する情報が効率的に発見され、国全体として有効に活用されるための取組が進められています**。

*<https://jpsearch.go.jp/>

データでつなく メディア芸術のアーカイブとコミュニティ

